

# 「自分のこと」として考えさせる 情報モラル教育

～「GIGAワークブックふくおか」を  
活用した授業実践を通して～



出典：福岡県庁ホームページ「活用型情報モラル教材」  
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/gigawbf2023.html>

カード分類比較  
法を使って「自分  
のこと」として考  
えさせる授業

情報モラルと  
活用スキルを  
効率的に指導

これまで

## 禁止事項指導型 「何が危険か」

- ・ネットは危険
- ・自分は関係ない
- ・なんか怖そう
- ・自分は大丈夫

### 指導上の課題

当事者意識を持たせることが難しい  
ネット利用にネガティブな印象を持たせがち

これから

## 危険予知トレーニング型 「どのくらい危険か」

- ・危険を理解して、よりよく使おう

教材にある「カード分類比較法」を使って「自分のこと」として考えさせる

### ①日常生活上の身の回りの話題（日常モラル）

○人によって受け取り方が違うことに**気づかせ、考えさせる**

自分と相手とのちがい

1 あなたが、クラスの友だちから言われて「いやだな」と感じる言葉の一つを選んでみましょう。

1 まじめだね

2 おとなしいね

3 いっしょうけんめいだね

4 個性的だね

5 マイペースだね

### ②ネット社会上の身の回りの話題（情報モラル）

○人によって優先順位が違うことに**気づかせる** \*人によってどのくらい危険か  
○優先順位の意図を**議論する**

1 あなたが、SNS等でクラスの友だちからされて「いやだな」と感じる順にならべてみましょう。

1 すぐに返信が来ない

2 なかなか会話が終わらない

3 知らないところで自分の話題が出ている

4 話をしているときにケータイ・スマホをさわっている

5 自分が一緒に写っている写真を公開される

いやだ ← → いやではない

# インターネットを適切、安全、上手に活用する力を身に付けた子どもを育てる3つの手立て

## (1) 子どもの実態に応じた育成計画の作成

### 小学校

	学年	教材名
ピギナー版	1年生	たんまつを上手に活用しよう
	2年生	使いすぎているかな①or②
	3年生	自分と相手とのちがい 使いすぎているかな③
スタンダード版	4年生	使いすぎているかな②
	5年生	自分と相手とのちがい
	6年生	社会の変化と情報モラル 写真を公開する前に

### 中学校

学年	教材名
中1	社会の変化と情報モラル
	自分と相手との違い
中2	こんなつもりじゃなかったのに
	災害時の SNS の使い方①
中3	生活を見直そう [情報モラル]
	災害時の SNS の使い方②

上記の教材を活用した情報モラル指導と日常モラル指導（道徳科、特別活動）との関連を意識した育成計画の作成が重要

## (2) 授業実践

### ①カード分類比較法で他の人との考え方の違いを可視化

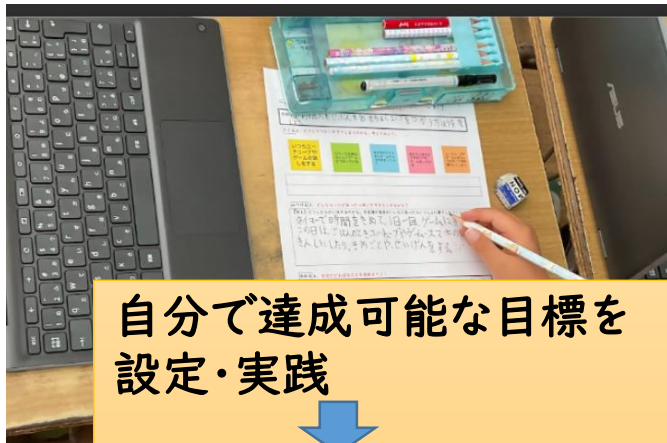
### ②多面的・多角的に考えさせる発問

### ③「どのくらい危険か」を考える議論が活性化

### (3) 保護者への情報発信

○学習の様子を学級通信等でお知らせし、保護者からのコメントをもらうことで、「自分のこと」として意識して、決めたことを実行していく意欲を高める

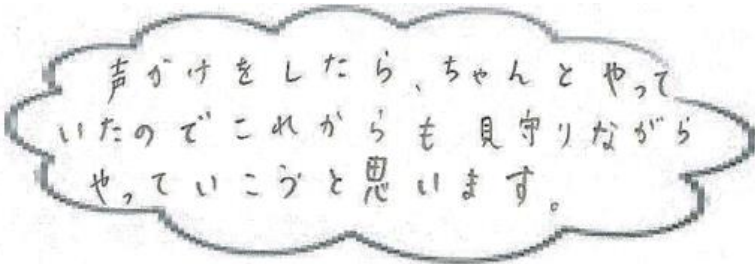
#### 【小学校の実践から】



自分で達成可能な目標を設定・実践



児童の実践状況について保護者からコメント



#### 【中学校の実践から】



責任を果たすための My 宣言

何ができるのか、いのか…」など

LINE などではなくその言葉になったとき文字をグループで果たすこと

友だちの意図をしっかりと理解できるようにしたいです。

責任をとれるのか、メッセージを送る前「これいいか」とか聞いてほしい。さん

リリじゃなかったのに、でも無視しているみたい。さん

してから送るのが責任じゃない。さん

いることが合っていることが苦手でも批判をしない。さん

**学習内容や生徒の振り返りを学級通信等で発信**

**保護者からコメント**

責任を果たすための My 宣言

保護者の方からのコメント

氏名 \_\_\_\_\_

生徒がインターネットやソーシャルメディアの情報を正しく扱うためには、親も一緒に学び安全に活動できるように支援していきたいです。

### 「自分のこと」として考えさせる情報モラル指導を行うために

「GIGAワークブックふくおか」を活用すると

- ・「情報モラル」と「上手な情報活用スキル」とを関連させて、**効率よく**指導することができる。
- ・「**カード分類比較法**」を活用して、「**自分のこと**」として考えさせることができる

より「自分のこと」として考えさせるためのポイント

- ・児童生徒の実態、他教科の指導内容と関連させた教材選択
- ・多様な考えの違いを可視化し、討論する活動の充実
- ・保護者と連携した、継続的な取り組み

